

## 経済学史学会第75回大会プログラム

於京都大学(2011年11月5-6日)

### 第1日目 11月5日(土)大会

	第 1 会 場	第 2 会 場	第 3 会 場
9:50	報告者：佐藤宏（上武大学） 論 題：マルサス人口論に関する人口波動論的解釈への批判的検討	報告者：大槻忠史（東京外国語大学、院） 論 題：赤松要の南方調査－戦間期と雁行形態論	セッション「20世紀イギリスにおける公共政策の経済思想」 組織者：江里口拓（西南学院大学）
10:50	司会者：関源太郎（九州大学） 討論者：柳田芳伸（長崎県立大学）	司会者：田中秀夫（京都大学） 討論者：池尾愛子（早稲田大学）	報告者および論題 江里口拓（西南学院大学） ウェット夫妻とLSEの公共政策論：一次大戦後イギリスにおけるガバナンスの構想 平方裕久（九州大学） メジャー政権による新しい公共政策
11:00	Chang, Ming Chung (National Central University, Taiwan) and Peng, Hsiao Ping (Yu Da University, Taiwan) The Inward-oriented Policies of Adam Smith and the China	報告者：伊藤正哉（中央大学） 論 題：R. F. ハロッドの国際経済認識	司会者：松永友有（横浜国立大学） 討論者：佐藤方宣（大東文化大学）
12:00	Chairperson: Shinichi Nagao (Nagoya University) Commentator: Satoshi Niimura (Okayama University)	司会者：近藤真司（大阪府立大学） 討論者：中村隆之（鹿児島国際大学）	
12:00	昼 食		
12:50	総 会（開催校挨拶）		
13:50			
14:00	Fiori, Stefano (University of Torino) Adam Smith on Method: Newtonianism, History, and Institutions	報告者：川村哲章（国士舘大学） 論 題：ハイエクの「貨幣」への視点－抽象と全体論	報告者：柴田徳太郎（東京大学） 論 題：制度経済学の哲学的基礎－ヒュームとバースの制度進化論－
15:00	Chairperson: Takuo Dome (Osaka University) Commentator: Shin Kubo (Kaetsu University)	司会者：佐藤有史（湘南工科大学） 討論者：江頭進（小樽商科大学）	司会者：壽里竜（関西大学） 討論者：高哲男（九州産業大学）
15:10	報告者：生越利昭（兵庫県立大学） 論 題：経済学形成期における労働観の変化	Ochangco, Armando C. (University of the Philippines) J.S.Mill and Marx on Freedom and Alternative Structures of Political Economy: A Reconstructive, Critical and Comparative Inquiry	報告者：松本有一（関西学院大学） 論 題：スラッファの生産方程式の形成過程－スラッファ・ペーパーズの調査から－
16:10	司会者：新村聡（岡山大学） 討論者：篠原久（関西学院大学）	Chairperson: Yasunori Fukagai (Yokohama National University) Commentator: Natsu Matsui (Matsuyama University)	司会者：平井俊顕（上智大学） 討論者：八木尚志（明治大学）
16:20	報告者：田中秀夫（京都大学） 論 題：アメリカ統治論争の一端－スミス、バウナル、フランクリン－	報告者：中宮光隆（熊本県立大学） 論 題：ピエール・プレヴォとシスモンディエー経済思想における功利主義的要素－	報告者：小峯敦（龍谷大学） 論 題：大学行政官としてのケインズー1920年代初頭、ケンブリッジの女性学位問題－
17:20	司会者：音無通宏（中央大学） 討論者：関源太郎（九州大学）	司会者：喜多見洋（大阪産業大学） 討論者：安藤隆穂（名古屋大学）	司会者：西澤保（一橋大学） 討論者：原伸子（法政大学）
18:00	懇 親 会（みずほホール）		
20:00			

第2日目 11月6日(日)大会

	第 1 会 場	第 2 会 場	第 3 会 場
9:30	報告者：神武庸四郎（一橋大学） 論 題：小林昇の方法態度と「大塚史学」  司会者：小林純（立教大学）	報告者：中川辰洋（青山学院大学） 論 題：「資本」概念の生成と展開に関する一考察—テュルゴ—学説の貢献とその足跡にみる問題点—  司会者：赤間道夫（愛媛大学）	報告者：吉野裕介（学術振興会特別研究員） 論 題：ハイエク『隷属への道』再考—F. マハループの貢献とアメリカにおける受容—  司会者：田村信一（北星学院大学）
10:30	討論者：菊池壮蔵（福島大学）	討論者：米田昇平（下関市立大学）	討論者：池田幸弘（慶応義塾大学）
10:40	報告者：竹本洋（関西学院大学） 論 題：「内田・小林論争」考  司会者：菊池壮蔵（福島大学）	報告者：川俣雅弘（慶應義塾大学） 論 題：チュルゴの『価値と貨幣』の公理的分析  司会者：栗田啓子（東京女子大学）	報告者：若田部昌澄（早稲田大学） 論 題：ミルトン・フリードマンを論じる  司会者：井上義朗（中央大学）
11:40	討論者：小林純（立教大学）	討論者：御崎加代子（滋賀大学）	討論者：廣瀬弘毅（福井県立大学）
11:40	昼 食		
12:30	セッション「利己性・利己心の系譜学」  組織者：江頭進（小樽商科大学） 報告者および論題 野原慎司（京都大学）	セッション「1910～20年代におけるマルクス/エンゲルス著作の翻訳＝普及」  組織者：大村泉（東北大学） 報告者および論題 渋谷正（鹿児島大学）	Ikeo, Aiko (Waseda University) Martin Bronfenbrenner(1914-1997) in Japan, 1949-1952 Chairperson: Junichi Himeno (Nagasaki University) Commentator: Kuniaki Makino (Setsunan University)
13:30	初期近代における利己心論の系譜	『ドイツ・イデオロギー』の榎田・森戸訳と廣松渉版	報告者：熊澤大輔（立命館大学, 院） 論 題：Say's Identity と Say's Equality
13:40	板井広明（青山学院大学） ペンサムにおける利己心	久保誠二郎（東北大学, 院） 『日本マルクス主義文献』と大正・昭和初期のマルクス・ブーム	司会者：荒川章義（九州大学） 討論者：山崎好裕（福岡大学）
14:40	原谷直樹（東京交通短期大学） 利他主義と利己心	玉岡敦（東北大学, 院） 『共産党宣言』邦訳史	
14:50	司会者：江頭進（小樽商科大学） 討論者：堂目卓生（大阪大学），井上義朗（中央大学）	大村泉（東北大学） 昭和初期における2つの『マルクス/エンゲルス全集』企画とコミンテルンの動向  司会者：大和田寛（仙台大学） 討論者：大和田寛（仙台大学, 久保報告に対して） 橋本直樹（鹿児島大学, 玉岡報告に対して） 渡辺憲正（関東学院大学, 渋谷報告に対して） 平子友長（一橋大学, 大村報告に対して）	報告者：三上真寛（北海道大学, 院） 論 題：ロナルド・コース取引費用理論の再評価 司会者：岡敏弘（福井県立大学） 討論者：黒木亮（獨協大学）
15:50			
	閉会の挨拶（代表幹事）		